

第71回関西広域連合委員会

日時：平成28年7月21日（木）

午前11時06分～午前11時40分

場所：リーガロイヤルNCB 2F 淀の間

開会 午前11時06分

○事務局 連合委員会に先立ちまして、ただいまから、関西広域連合シンボルマークのご披露と表彰式を行わせていただきます。連合長、恐れ入りますが中央までお越し願います。

○広域連合長（井戸敏三） メンバーの皆さん、最後に、小池さんを挟んで一緒に写真を撮らせていただきますのでご協力よろしく願いいたします。

○事務局 シンボルマークの公募には、プロのデザイナーから中学生まで205点ものご応募をいただきました。4月以降、美術系の学識者、連合協議会委員などによる厳正なる審査を経て、このたび連合委員会で最優秀賞を決定いたしました。

それでは、関西広域連合シンボルマークのお披露目をさせていただきます。井戸連合長、青い幕をお引きください。

○事務局 ありがとうございます。

選考の中で、この作品は飛躍や羽ばたきといった未来に向けた動きが感じられ、色彩が華やかであること、「関西」のローマ字の「K」の頭文字が容易に分かることなどから最優秀作品として選ばせていただきました。

早速、受賞者をご紹介させていただきます。小池友基様です。本日は群馬県からお越しいただいております。小池様、どうぞ中央までお進みください。

○事務局 それでは、これより井戸連合長から表彰状の授与と副賞の目録を贈呈させていただきます。

○広域連合長（井戸敏三） （表彰状授与）

本当にありがとうございます。

目録ですが、関西広域連合構成府県市の特産品をお贈りすることになっております。ちなみに兵庫県は神戸ビーフ、神戸市は神戸ワインになっています。すみません、他はお配りしています資料をご覧ください。

○事務局 連合委員会を代表いたしまして、井戸連合長より一言お祝いを申し上げます。よろしく願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） 小池さん、本当にありがとうございました。このシンボルマークは、関西広域連合の趣旨をよく表していただけてまして、特にオレンジの輪ですね、関西はよく一つ一つと言われるのですが、関西が一つになっているというイメージと、その一つが未来に向かって大きく羽ばたいていくというイメージを感じさせてくれる、とても素敵なシンボルマークになりました。心から感謝を申し上げますと思います。ありがとうございました。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、小池さんからデザインに込められました思いなどを少しお話しいただけますでしょうか。

○受賞者（小池友基） 関西広域連合のシンボルマークを制作した小池と申します。「関西」の「K」をモチーフに直感的に関西が羽ばたく様子がわかるように表現しました。ひと目見て、ブルーの面積が多いのは大空に羽ばたくイメージを直感的にイメージさせて、全体で関西がにぎやかになるイメージの配色にしました。色も暗くならないように現代風な色使いに、明るいイメージになるように配色しました。ピンバッチにしたとき、小さくしても華やかな感じに見えるようなマークです。

さらに関西が飛躍していくことを願っています。

○事務局 小池さん、どうもありがとうございました。

それでは、最後に連合委員の皆様と一緒に写真撮影を行わせていただきます。

（写真撮影）

○事務局 どうもありがとうございました。それでは皆様、ここで最優秀賞受賞者

の小池さんにもう一度大きな拍手をお願いいたします。小池さん、ありがとうございました。

これをもちまして、関西広域連合シンボルマークの表彰式を終了させていただきます。ありがとうございました。

○広域連合長（井戸敏三） 既にシンボルマークを発表していたので、カメラの数が少なかったかもしれませんが、お許しいただきたいと思います。

それでは、第71回の連合委員会を開始させていただきます。

今回は報告事項ばかりです。最初に熊本地震への対応について説明をお願いします。

○広域防災局 「熊本地震への対応」でございます。資料2をお願いいたします。

現地ニーズが復旧・復興に移行してまいりましたので、7月19日をもって現地支援本部・現地連絡所による支援を終了いたしました。4月14日からの支援実績でございますが、4月14日から7月19日までの97日間で現地支援本部による支援が延べ7,423人・日、警察消防も含めまして政令市を含めた関西広域連合全体での支援が延べ32,263人・日となりました。

今後の広域連合としての対応でございますが、広域防災局に相談窓口を設置して支援を継続してまいります。

また、個別専門分野における支援につきましては、保健師、仮設住宅整備等、国の調整を踏まえて個別に対応をしてまいります。中長期の職員派遣でございますが、熊本県庁への派遣要請が74名ございまして、そのうち53名は九州ブロックで対応することとなっております。全国知事会で21名の派遣要請がございました。その21名のうち9名につきましては、表のとおり関西広域連合の構成府県で派遣することとしております。また、熊本市を含む被災市町村への派遣につきましては、現在、九州の知事会、全国知事会におきまして派遣要請の内容の精査を行っておりますので、その結果を待って対応していくということになります。

以上でございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** 現地連絡所等、あるいは支援チームの派遣につきましては一段落いたしておりますので、このような総括報告をさせていただきました。別添資料でその内訳を整理しておりますので、ご参照いただければ幸いです。

それでは、資料3ですが「関西広域連合協議会若者世代による意見交換会」についてであります。事務局から説明をお願いします。

○**事務局** 資料3をご覧ください。

昨年の9月の連合協議会において、委員からのご提案及び本年3月の連合議会における議員からの「若者の意見の連合施策への反映」についてのご質問等への回答を踏まえまして、検討し実施することにさせていただきました。連合域内の6大学から30名の大学生にご参加いただきまして、徳島県のご協力によりまして徳島市内で9月9日に連合の若手職員と大学生との意見交換会として実施させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**委員（飯泉嘉門）** 事務局からも説明がありましたように、青木委員が徳島県から出てるということもございましたし、連合議会で本県選出の元木議員さんからもお話がありましたので、また、今回の参議院選挙、18歳・19歳と新たに若い皆さん方240万人が有権者になったということで、関西広域連合としてもしっかりと、こうした点について若い皆さん方のご意見を連合の施策に活かしていく必要があるのではないか。そうしたものを一番センシティブに感じる同世代の連合職員の皆さん方にもしっかりと対応してもらおうということで、ご参加をいただこうと考えております。

当日は以前、連合長に出ていただくかという話もあったのですが、いや、徳島でやるのだったらということで私のほうで最初にご挨拶をさせていただく予定にしておりますので、どうぞよろしくお願いいたしますと思います。

○**広域連合長（井戸敏三）** 準備から本番まで徳島県にご厄介になりますけども、どうぞよろしくお願いいたします。

滋賀大学・同志社大学・関西学院大学・和歌山大学・徳島大学・鳥取環境大学が参

加。大阪と奈良が抜けているね。今からでもいいですよ。検討していただいたらいかがでしょうか。義務づけはいたしませんから、可能であればということでよろしくお願いいたします。

○事務局　大学につきましては、連合協議会の有識者の先生方がいらっしゃる大学からお願いさせていただいております。そこに大阪と奈良の先生がいなかったのも、呼びかけはさせていただいたのですが、急ぐ話でもございましたので、ご参加まで至らなかったということでございます。

○広域連合長（井戸敏三）　今からでも遅くはありませんから、可能ならば参加をお勧めいただいたら幸いです。よろしくお願いいたします。

それでは、資料4ですけれども、淀川流域の研究会の開催結果についてご報告です。事務局お願いします。

○事務局　資料4をお願いいたします。「琵琶湖・淀川流域対策に係る第11回研究会」が昨日の午前中、京都平安ホテルで開催されました。中川博次座長をはじめ、嘉田顧問まで全員ご出席をいただいております。

(2)の審議内容でございますけれども、例えばリスクファイナンスに関しては財源として整理するのではなく、流域治水対策の項目ではないかとか、あるいは流域全体で上下流、左右岸でリスクを分かち合う仕組みとして洪水保険、共済制度を議論できればいいのではないかと等々の熱心なご議論が交わされたところでございます。最後に締めとして中川座長からは大きな視野がないと問題は解決しない。流域の一人ひとりがそのような視野を持てるようにする。ここが広域連合に期待している役割であるというようなお話がございました。

昨日の議論の結果を踏まえまして、各先生方からいただいた意見を報告書に反映し、最終的には中川座長の取りまとめということで、次回8月29日開催の連合委員会にこの研究会の提言という形で提出をさせていただく予定としております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） ここに書いてある「期待被害率」というのはどういう概念なのですか。水害保険・共済制度などに関して、根拠となる「期待被害率」の公表が重要であり課題とすべき。この期待被害率。

後ほど報告してください。

続きまして、「関西広域連合委員による琵琶湖視察」についてであります。三日月委員にはお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員（三日月大造） 今も研究会の検討結果等のご報告がありました。また瀬戸内海の法律も通ったということですが、**「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」**も公布・施行されまして、関西広域連合の皆様にも、琵琶湖を視察していただく機会を設けさせていただきました。

お手元資料にありますように、琵琶湖の全域は回っていただけませんが、南湖中心に観光船「リオグランデ号」からご覧いただければと思います。この季節ですので雪はございませんが、湖上から比良山地、比叡山を臨む自然景観の雄大さを眺め、同時に水草及び外来水生植物でありますオオバナミズキンバイの状況もご視察いただきながら、淀川水系・琵琶湖の価値と現状を共有させていただきたいと思います。

9月22日の午前中に視察していただきます。同日午後には開催されます関西広域連合協議会及び委員会に先立って開催をさせていただきますので、ぜひご参加くださいますようお願いをいたします。

なお、関連いたしまして広域連合で現在実施しております、学習船「うみのこ」親子体験航海について報告させていただきます。先般7月18日に第1回を実施いたしました。応募総数が143組で49組の参加をいただいております。その後8月・10月・12月と3回予定しております、既に次の会は応募が200組を超え、大変好評だと聞いておりますので、しっかりと理解促進のために進めてまいりたいと存じます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。お世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

この観光船「リオグランデ」は滋賀県所有ではないのですね。

○委員（三日月大造） 琵琶湖汽船です。

○広域連合長（井戸敏三） 琵琶湖汽船の所有。それで「うみのこ」は。

○委員（三日月大造） 「うみのこ」は滋賀県が所有をしている環境学習船です。

○広域連合長（井戸敏三） 10億ぐらいかかるのですか。

○委員（三日月大造） 今、新船の建造をしております、その費用が30億ぐらいです。助成制度はありません。約30年前から、これまでに50万人以上が乗っています。私の一つ下の世代からは小学校5年生になると必ず全員乗ることになっていますので、「うみのこ」世代がかなり増えてきています。

○委員（門川大作） ここ（琵琶湖）から京都までインクラインで行ったらどうです。疏水のインクライン。

○委員（三日月大造） 疏水のインクラインも考えたのですが、船が大き過ぎて入らないということですので、視察の際に琵琶湖疏水のことについてもご紹介いただき、また共有する、そういう機会を作っていきたいと思いますので、京都市さんのご協力よろしくお願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） それでは楽しみにさせていただきます。

続きまして、資料6「G7神戸保健大臣会合」につきまして、鳥居副委員からご説明をお願いします。

○副委員（鳥居聡） それでは、資料6をご覧ください。

「G7神戸保健大臣会合」が9月11日と12日、神戸ポートピアホテルで開催されます。開催に向けまして構成府県市さんには、色々ご協力をいただいております。ありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。

(4)に参加国を書いておりますが、10日の夕方から入りまして11日・12日の午前中までが(3)のア、イ、ウの三つのテーマで議論されまして、12日の昼からは現地見学ということで医療産業都市とか、医療関連の企業も見学されたいというリクエ

ストも聞いておりました、12日の晩、大体は泊まられて13日に帰られると。そのような日程になってございます。

それに合わせまして盛り上げようということで、2の（1）に書いてございますが、7月23日に50日前フォーラムということで、「認知症と共生する社会に向けて」というテーマでやらせていただきます。

また、8月21日は、「ひょうご・こうべ保健医療ハイスクールサミット」をやらせていただくと思っております。

それから裏面ですが、9月8日から11日にかけて「ひょうごKOBÉ医療健康フェア」ということで、ポートピアホテルの隣の神戸国際展示場を使いまして展示をさせていただこうと思っております。主な展示内容は記載のとおりでございます、我々としては阪神淡路大震災からの感謝のメッセージも出していきたいと思っております。

また、併せて神戸ビーフとか灘の酒も飲める、食べられるようにしておりますので、ぜひお越しいただければと思います。

それから、関西広域連合からですね、フェアの会場にはドクターヘリの実機を展示していただくことになってございまして、関西広域連合としての取組を紹介させていただきたいと思っておりますし、また、関西ブランドのイメージの周知と向上ということで、観光資源を紹介するポスターの展示、これも併せて行わせていただくこととしております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。

特に何か。どうぞ、飯泉さん。

○委員（飯泉嘉門） 今お話がありましたように、もともとは連合長のご発案でドクターヘリの実機を展示したらどうだろうかということがありましたので、広域医療局として交渉させていただきまして、実機を、そして関西広域連合で飛んでいるもの

を展示しようと。実は関西広域連合の構成府県にドクターヘリを持っていき、子供さんたちに見ていただくということもやっておりますので、そうした意味では今回多くの子供さんたちもお越しになるとお聞きをしておりますので絶好の機会ということでPRを。そして、“いつでもどこでも安心医療圏「関西」”をPRしたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） 患者体験は。

○委員（飯泉嘉門） 患者体験はないですね。展示です。いつもはヘリを置いて乗ってもらうのが多いですね。

○広域連合長（井戸敏三） 23日に行いますフォーラムは関西健康・医療創生会議との共催となっております。実質的に広域連合と共催させていただくということでもありますので、付け加えさせていただきます。

無事終わることを我々としては願っておりますが、ポートアイランドでやりますので、島ですから、橋とトンネルを押さえれば基本的に大丈夫というふうに考えてはいます。

昨日、ポートライナーで訓練したんですよ。

○副委員（鳥居聡） 訓練しました。G7神戸保健大臣会合終了後はもう一つ最後にあるのですが、軽井沢で交通大臣会合が9月24,25日にあります。

○広域連合長（井戸敏三） それでは、報告事項は以上ですが、特に何かございましたらご発言をお願いしたいと思います。

どうぞ。

○委員（三日月大造） 二つ資料がついていると思いますが、「国際シンポジウム 関西アーティスト・イン・レジデンス・in信楽」ということで、まさに紅葉が色づき始める10月22日に滋賀県甲賀市にあります滋賀県立陶芸の森で開催させていただきますので、ぜひご参集ください。前日になりますが町内見学ツアーなども予定いたしております。

なお、最後に一つ小さいチラシですね。「滋賀県立琵琶湖博物館」が開館して20年になります。今リニューアルを1期、2期、3期と分けてやっております、その1期リニューアル工事が完了し、先日オープンいたしました。年間36万人来られるところで、先般の3連休だけで3万人近くの方が来場され、おかげさまで好評であります。バイカルアザラシや淡水湖の生き物、また、暮らしとの関わりについて展示しておりますので、ぜひご利用いただければと存じます。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。どうぞ、飯泉さん。

○委員（飯泉嘉門） あと、御礼を一つ。

5月9日から国民生活センターが徳島で業務移転、試験を行っているのですが、皆様方になるべく多くご参加をとということで、実は、第4回は非常に県外が少なかったのですが、第5回は兵庫県をはじめ、県外が非常に増えまして、そうした意味でまたこれからもご協力をぜひよろしくと。何と言っても8月末には、和歌山県共々その方向が決まりますので、どうかよろしくお願いを申し上げたいと思います。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。

他にございますか。報告してください。

○事務局 資料4の琵琶湖・淀川流域対策の研究会の審議の中の「期待被害率」という言葉でございますけれども、これは水害などの災害が起こったときにある特定の資産に対してどれくらいの被害が発生するのかということをも100%率で表したもので、例えば水害が起こった場合、家屋が全損するという場合は100%というような数値で表すと。そういう言葉、意味ということでございます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 期待被害率と言うから意味が分からなくなって、予想被害率だったら言葉だけで分かるのにね。

○副広域連合長（仁坂吉伸） 多分、抜本的に予想と期待の意味が違うんですね。

計算の仕方からとか、学者用語ですね。

○広域連合長（井戸敏三） 最後に関西広域連合議会 8 月定例会ですが、8 月 29 日の 12 時半、場所は京都府議会の 2 階議場で行わせていただきますので、京都府の皆さんにはご迷惑をおかけしますがどうぞよろしく願いいたします。議案は先ほどの決算認定と補正予算と関西観光・文化振興計画の変更でございます。

それでは、できるだけ趣のある質疑が展開できるように期待したいと思います。

今日予定をしておりました議案は以上でございます。ご協力ありがとうございました。

○事務局 それでは記者会見を行います。質問を希望される記者の方いらっしゃいましたら挙手をお願いします。よろしいですか。

それでは、終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会 午前 11 時 40 分